

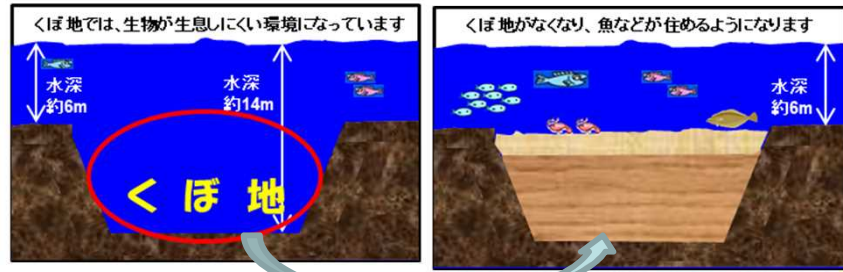
博多港湾・空港整備事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども博多港湾・空港整備事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、博多港及び三池港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



窪地の埋め戻し

博多港の港湾区域造成に係る埋立のために、海底土砂の深掘りの結果残った窪地は水深が深いことから植物が育たず貧酸素状態となり、生物が生息しにくい環境になっていました。
現在は港湾内における航路の埋没箇所の浚渫で発生した土砂を有効活用し、窪地の埋立を行っています。



総合学習・出前講座の実施

博多港湾・空港整備事務所では、職員が学校や地域のイベントなどに出向き、当事務所が行っている事業や防災に関することなどについて紹介させていただく「出前講座」を開催しています。
また、三池港の出前講座では座学だけでなく、九州地方整備局の直営船に乗船し、海の上から「みなと」を見学するといった取り組みを実施しています。
【目標】 2019年度:1回/年 → 2030年度:3回/年



耐震強化岸壁の整備

博多港IC地区においては、大規模地震が発生した際に、発生直後から緊急物資等の輸送や経済活動を確保するとともに、博多港の背後企業の産業活動を支えることを目的として、耐震強化岸壁及び都市高速道路に接続する臨港道路の整備を行いました。(2022年:岸壁1バースと臨港道路供用中)

